

白井市文化センター大規模改修基本計画策定の方向性について

1. 趣旨

白井市文化センター大規模改修基本計画の策定にあたり、策定の方向性として構成案を報告するものです。

あわせて、今後の改修にあたり整備する機能等（施設の維持管理に係るものは除く）や今後のスケジュールについて報告いたします。

2. 計画の概要

(1) 役割・位置づけ

- ・白井市文化センターは平成6年の開館から30年以上経過しています。
- ・経年による老朽化の進行や法改正に伴う現行法令との既存不適格への対応、現在の社会情勢や市民ニーズに合致した施設としていくため大規模改修工事を予定しており、現在、基本計画の策定を進めています。

(2) 計画策定方法

- ・計画策定は令和5年5月2日に白井市教育委員会が策定した白井市文化センターのあり方に関する方針（以下、「方針」という）に基づき進めます。
- ・計画策定にあたり、市民意見の聴取として市民アンケート（実施済み）、附属機関である文化センター4館の運営協議会（文化会館、図書館、郷土資料館、プラネタリウム館）との意見交換、パブリックコメントを実施します。

3. 白井市文化センター大規模改修基本計画 構成案について

基礎情報から参考資料まで8つの章立とします。詳細は資料1のとおりです。

4. 文化センター各館機能における検討項目について

市民アンケート及び4館（文化会館、図書館、郷土資料館、プラネタリウム館）の運営協議会との意見交換を踏まえ、4館及び施設全体について、大規模改修工事で整備を検討する項目をまとめました。詳細は資料2のとおりです。

5. 今後のスケジュール

令和8年3月末ごろを目途に案をまとめ、パブリックコメントを実施し、令和8年6月末ごろを目途に基本計画を確定します。詳細は資料3のとおりです。

6. その他

基本計画の策定経過及び結果については、別途各段階で報告いたします。

なお、検討状況として、白井市文化センター大規模改修基本計画構成案等を市ホームページへも掲載し、市民の方々への周知を予定しています。

白井市文化センター大規模改修基本計画 構成案		
項目	内容	
1.基礎情報	(1) 文化センター大規模改修の目的等	文化センター大規模改修実施の目的、これまでの検討経緯等
	(2) 上位・関連計画	上位・関連計画等
	(3) 敷地・対象施設の状況	敷地条件、対象施設に関するデータ等
2.文化センター大規模改修の基本方針	(1) ビジョン・ターゲット	事業者サウンディング結果を踏まえたビジョン・ターゲットの設定
	(2) 文化センター大規模改修の基本方針	文化センター大規模改修の基本方針、本市の考え方等 官民連携に期待する事項
	(3) 文化センター大規模改修の進め方	文化センター大規模改修の進め方の概要 (詳細は4.整備手法・整備の進め方において説明)
3.本施設内の事業や取組(経験・体験等)	(1) 本エリア・事業の特徴	事業者サウンディングの結果から特徴を抽出して整理
	(2) 改修前の事業や取組の整理	改修前の事業や取組を分類し、それぞれの目指す姿を整理
	(3) 改修後、市として実施する事業や取組	市として実施する事業や取組を整理
	(4) 改修後、民間に実施を期待する事業や取組	民間に実施を期待する事業や取組を整理
4.整備手法・整備の進め方	(1) 望ましい整備手法	事業者サウンディング結果を踏まえた具体的な内容等を整理
	(2) 整備の進め方	各段階で何を決め、整備を進めていくかを整理
5.管理・運営の考え方	(1) 基本条件	事業者サウンディング結果を踏まえた対象施設の管理・運営に関する基本条件を整理
	(2) 管理・運営体制	想定する管理・運営体制(市と民間事業者の役割分担の考え方、施設毎の体制)を整理
	(3) マネージメント手法	長期的な事業のマネージメントを行う仕組みを整理
6.施設整備の設計条件	(1) 施設改修方針	・なにを改修するか 改修範囲の整理 ・どう改修するか 施設改修の方針(機能回復・法適合、機能向上)
	(2) 本施設の機能・規模	①文化会館大ホール ②文化会館中ホール ③図書館 ④郷土資料館 ⑤プラネタリウム ⑥共用部 ⑦外構
	(3) 施設整備を支える要素技術	災害及び防災、環境対策等、その他必要事項を整理 ZEB化検討 各種比較表
	(4) 広域施設連携の考え方	駅前及び隣接開発区域との連携
	(5) 概算工事費・施工工程	・概算工事費 ・施工工程
7.今後の進め方	文化センター大規模改修における課題 全体スケジュール 次フェーズ以降の検討項目の整理	
8.参考資料	(1) 市民アンケート結果	実施概要・結果
	(2) 庁内協議会等結果	実施概要・結果
	(3) パブリックコメント結果	実施概要・結果

文化センター各館機能における検討項目について

1. 検討の進め方

令和5年5月2日「白井市文化センターのあり方に関する方針」及び令和7年8月26日から令和7年9月15日まで実施した市民アンケート結果を踏まえ、以下のとおり検討を進める。

機能は4館の運営協議会（文化会館、図書館、郷土資料館、プラネタリウム館）との意見交換により「2. 各館の機能における検討項目について」のとおりに検討項目として定めた。今後はサウンディング型市場調査により、民間企業との意見交換を実施して検討を進める。

なお、導入にあたっては、市の各種計画や財政状況、文化センター周辺の環境を十分に考慮して判断することとする。

2. 各館の機能における検討項目について

(1) 文化会館

○大ホール

- ・舞台機構・舞台音響は、利用状況を考慮し現状維持に努める。また、機器更新にあたっては省エネ化等の検討
- ・映像設備は、利用状況を考慮し機器の省エネ化等の検討
- ・バリアフリー化（トイレや動線の改善等を含む）の検討
- ・その他

○中ホール

- ・音楽・ダンス等の練習、発表機能に係る検討
- ・舞台機構・舞台音響・映像設備は、利用状況を考慮し省エネ化等の検討
- ・床仕上げ変更及び天井・壁・床の防音防振化の検討
- ・可動間仕切りによる分割貸出の検討
- ・その他

○共通

- ・補聴システム導入の検討（参考：赤外線、磁気ループ、スマートグラス）
- ・その他

(2) 図書館

- ・ICチップ装備とブックディテクションシステム導入によるセルフ貸出機・返却機・予約棚の設置と貸出前資料の施設内（共用スペースや他館）への持出サービスの展開の検討
- ・レイアウト変更に伴う蔵書数見直しと配架・閲覧スペース再編の検討
- ・魅力的な棚作成と展示コーナー・書庫の電動書架整備の検討
- ・バリアフリーに配慮したレイアウトの検討
- ・電子書籍導入の検討
- ・児童コーナー拡充の検討
- ・学習スペース再編の検討
- ・会話可能な場所と静かに読書できる場所の確保の検討
- ・その他

(3) 郷土資料館

- ・既存スペースにおいて、必要な収蔵面積の確保の検討
- ・上記に伴う、展示室と収蔵庫の面積変更の検討
- ・デジタルアーカイブ化とデジタル展示の検討
- ・電気・照明・消火設備改善の検討
- ・展示室及び収蔵庫の温湿度管理改善の検討
- ・防犯カメラ導入の検討
- ・修補作業スペースの確保の検討
- ・その他

(4) プラネタリウム館

- ・投映機は、光学式プラネタリウムとデジタル式プラネタリウムを併用する。機器の更新は、機器の性能やコスト等を考慮し、最適なものを検討する。
- ・音響設備は、現状維持に努め、省エネ化等の検討
- ・補聴システム導入の検討（参考：赤外線、磁気ループ、スマートグラス）
- ・座席の更新。座席数は市内小中学校普通教室2クラス分が視聴できる数とする。（75席程度）
- ・バリアフリーに配慮した座席等の検討（幼児用クッション、車いす対応等）
- ・プレミアムシートやペアシート、お座敷シート等設置の検討
- ・投映やイベント等がない際の一般貸出の検討
- ・その他

(5) 施設全体（研修室（学習スペース）含む）

○全館共通機能

- ・全館 Wi-Fi 導入の検討
- ・デジタルサイネージ（電子公告、展示）設置の検討
- ・その他

○共用スペース、空きスペース等の有効活用

- ・1階図書館トイレ改善の検討（エントランス側から入れるように）
- ・図書館入口の改善（開放的にする）
- ・レストラン・カフェ又は飲食物等販売所設置の検討
- ・休憩スペース設置の検討
- ・コワーキングスペース設置の検討
- ・他行政機能導入の検討
- ・外部空間（前庭・中庭、駐車場からのアプローチ等）の改善、有効利用の検討
- ・案内表示の改善
- ・フリースペースの確保（大ホールや中ホール以外に、文化センターの関係団体が利用できるスペース）
- ・その他

白井市文化センター大規模改修基本計画 検討スケジュール

